

(参考)

財務シミュレーション前提条件

①収益的収支

区分	科目名	前提条件
収益的収入	1 営業収益	
	(1)料金収入	有収水量（小口径水量＋中口径水量＋大口径水量）×供給単価 ・口径 13、20mm：1 人 1 日平均使用水量 ^{※1} ×給水人口の見込み ^{※2} ※1 直近 10 年間の実績を基に将来需要を推計 ※2 刈谷市人口推計値×水道普及率 ・口径 150mm：直近 3 年間の実績により 0 ・その他の口径：直近 10 年間の実績を基に推計 (注) コロナ禍の影響を考慮し、令和 2 年度実績は上記算定から除く
	(2)受託工事収益	－
	(3)その他	直近 4 か年度平均
	2 営業外収益	
	(1)補助金	
	他会計補助金	－
	その他補助金	－
	(2)長期前受金戻入	2023 年度までの取得資産：決算額 2024 年度以降の取得資産：予定償却額
	(3)その他	(受取利息) 直近年度決算 (その他) 直近 4 か年度平均
収益的支出	1 営業費用	
	(1)職員給与費	直近年度の単価×職員予定数 ※いずれも 2023 年度実績で横ばいの推移
	基本給	同上
	退職給付費	同上
	その他	同上
	(2)経費	
	動力費	直近 4 か年度平均の単価×年間配水量
	修繕費	過年度実績に基づく固定金額＋投資計画に係るランニングコスト
	材料費	－

		その他	(委託料) 直近4か年度平均+投資計画のうち3条支出で処理すべき委託料 (薬品費) 直近4か年度平均の単価×年間配水量 (受水費) 総配水量、給水人口の推計、県水依存率の実績を基に試算 (固定資産除却費) 管路除却額+施設設備除却額+撤去費用 ・管路除却額：直近4か年度平均 ・施設設備除却額：投資計画に基づく除却資産の残存簿価 ・撤去費用：投資計画のうち3条支出で処理すべき撤去費用 (その他) 直近4か年度平均
		(3)減価償却費	2023年度までの取得資産：決算額 2024年度以降の取得資産：建設改良費に耐用年数に応じて償却率を乗じた予定償却額
	2 営業外費用		
		(1)支払利息	2023年度までの既発債：償還表に基づく 2024年度以降の新発債：30年、金利1.5%、据え置き5年、元利均等で試算
		(2)その他	—

② 資本的収支

区分	科目名	前提条件
資本的収入	1 企業債	2023 年度：耐震化対応に係る予定額 2024 年度以降：企業債残高対給水収益比率（類似団体平均）を指標として試算
	2 他会計出資金	－
	3 他会計補助金	－
	4 他会計負担金	－
	5 他会計借入金	－
	6 国(都道府県)補助金	生活基盤耐震化等交付金
	7 固定資産売却代金	－
	8 工事負担金	直近 4 か年度平均
	9 その他	－
資本的支出	1 建設改良費	(職員給与費) 直近年度の単価×職員予定数 ※いずれも 2023 年度実績で横ばいの推移 (営業設備費) 直近年度決算 (リース債務支払額) 直近年度予算 (その他) 施設整備基本計画より
	うち職員給与費	同上
	2 企業債償還金	2023 年度までの既発債：償還表に基づく 2024 年度以降の新発債：30 年、金利 1.5%、据え置き 5 年、元利均等で試算
	3 他会計長期借入返還金	－
	4 他会計への支出金	－
	5 その他	－

③ 他会計繰入金

区分	科目名	前提条件
	収益的収支分	
	うち基準内繰入金	－
	うち基準外繰入金	－
	資本的収支分	
	うち基準内繰入金	－
	うち基準外繰入金	－
	合計	

刈谷市水道事業経営戦略

発 行 令和7年（2025年）3月

発行者 刈谷市水道事業 / 編 集 水資源部水道課

〒448-8501 刈谷市東陽町1丁目1番地

TEL：0566-62-1028 FAX：0566-23-2087